

新しい散歩ルート

大森 海太

最近あることでJR大塚駅前から都電荒川線に乗車する機会があった。ところが乗って間もなく、少し離れたところにいた高校生くらいの少女が、突然蒼くなって床に崩れ落ちた。そばにいたおばさんが介抱して座席にすわらせたが目を閉じたままだ。飛鳥山駅に電車が止まって救急車が呼ばれ、しばらくして少女は運び出されたが、その間電車が遅れたことに乗客の誰一人文句を言う人がいなかったのはさすがだった。

一方私はなんとなく気がそがれたので目的地の三ノ輪橋行きは日を改めることとして、その日は飛鳥山から我が家まで歩いてみることにした。方角としてはだいたい南南西にあたるので好加減に見当をつけて歩いたものの、途中道に迷ったりして一時間半位かかり、調べてみると相当無駄に回り道をしていることが分かった（これはこれで楽しいのだが）。

後日、地図を眺めながら検討したところ、飛鳥山からは西ヶ原の住宅地を抜けて染井霊園を縦断し、巢鴨駅前のとげぬき地蔵通りの入り口から千石の江戸橋通り経由、小石川植物園のワキを通して我が家にたどり着くコースが最も直線に近いと判明した。それならばということで翌日、今度は逆に自宅からこのルートに沿って歩いてみると、一時間ちよつとで無事飛鳥山に到着。帰りは都電で大塚に戻り、そこから都バスで家の近くの伝通院まで、どちらも都のシルバーパスで無料ただである。

偶然に新しい散歩ルートを開発したので気分がよく、その後もリピートしている。なかでも染井は江戸時代からの由緒ある墓地で、古くは遠山金四郎や千葉周作、明治以降でも芥川龍之介や谷崎潤一郎などが祀られているらしい。二万坪の霊園内は緑が濃く、文字通りソメイヨシノの発祥地でそれらしき桜の巨木が何本も見られ、花の季節が楽しみだ。

帰りの都電は現在唯一残っている路線で、乗客は買い物かごを持ったおばさんたちや、学校帰りの少年少女、ぼーつとしている爺さんなど、下町の風情でこれもまた楽しい。